



岳南朝日新聞社



プロジェクトに意欲を見せるメンバーと児童

耕作放棄地で特産品創出

たい肥使いジャンボカボチャ作りなど

富士宮高校会議所

富士宮高校会議所の創出を図る。(勝亦海史会頭)は4月29日、西町レトロ館でSDG s実践たい肥「マスマス元肥(げんぴ)」を使い耕作放棄地をよみがえらせる取り組みを発表した。耕作放棄地の有効活用で産地消、安全安心な野菜・果樹・草花作りを推進し、新たな特産品

プロジェクトは、2月29日、西町レトロ館でSDG s実践たい肥「マスマス元肥(げんぴ)」を使い耕作放棄地をよみがえらせる取り組みを発表した。耕作放棄地の有効活用で産地消、安全安心な野菜・果樹・草花作りを推進し、新たな特産品

7個に選ばれている。同日は10人の同会議所メンバーに加え、放課後児童クラブの小学生がヒマワリを栽培し迷路遊びや観察、種

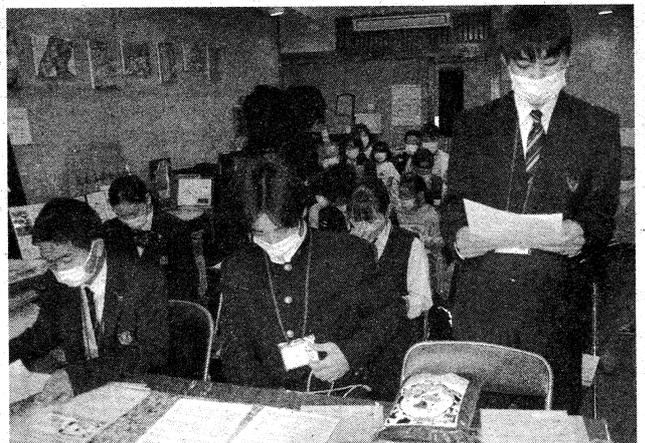
し、▽一般市民に野菜等栽培の呼びかけ▽両放課後児童クラブの小学生がヒマワリを栽培し迷路遊びや観察、種

プロジェクトは、これまでに粟倉のほ場に加え外神の耕作放棄地の約990平方メートルを活用

事業計画は、これまでに粟倉のほ場に加え外神の耕作放棄地の約990平方メートルを活用

し、▽一般市民に野菜等栽培の呼びかけ▽両放課後児童クラブの小学生がヒマワリを栽培し迷路遊びや観察、種

プロジェクトは、これまでに粟倉のほ場に加え外神の耕作放棄地の約990平方メートルを活用



取り組みを発表する勝亦会頭

多く含まれ野菜や花な者は時田定則さん(電)の生育に効果が高090015000815い。その他リジン等の439、メールアドレスaminor1615@celonや果樹等のうまみ成分D.com、または高校会に良い結果が現れると議所公式ライン(ID)思う。取り組みは、特@76shina)に。

産品開発や耕作放棄地対策と地産地消の推奨、自給率のアップにもつながる」と意欲を見せた。

カボチャコンテスト
応募者に
苗を配布

同会議所は、ジャンボカボチャを栽培して10月15日に開催予定のコンテストへ応募を希望する人30人(先着順)に苗を配布する。希望